

事業の経緯

- 府では、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の理念を踏まえた施策を先取りして推進するため、「『いのち輝く未来社会』をめざすビジョン」を策定（平成30年3月）。
- 本ビジョンの目標に「いきいきと長く活躍できる『10歳若返り』」を掲げ、万博のインパクトを活かし、いきいきと長く活躍できる大阪の実現に向け、取組みをスタート。

府の認識

「10歳若返り」は、万博誘致を契機に開始され、万博に向けて進めてきた取組み。
こうした成り立ちや、7年にわたる事業実施における成果を踏まえ、今後のあり方について検討が必要。

今後のあり方のイメージ

【Before EXPO2025】体験型事業、情報発信の実施

7年にわたる事業実施の中で、

- 「新しい健康づくり・いきいきと長く活躍するための手法」を提示（先端技術の活用や、楽しみながら実践できるプログラム）
- ヘルスケア事業を行う企業・団体との連携・つながり
- 府民の「10歳若返り」の意識の広がり
 - － 体験型事業 総参加者：約2.5万人
 - － YouTube・SNS登録者：約2万人

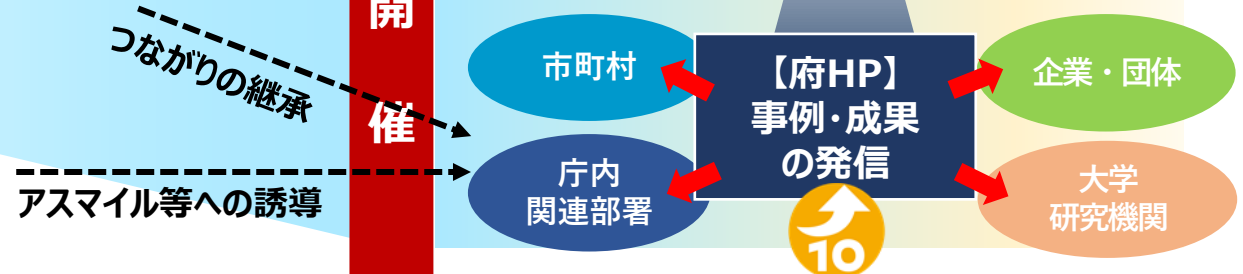
万
博
開
催

【After EXPO2025】成果の継承・活用

いきいきと長く活躍できる
「10歳若返り」

健康づくり、フレイル予防、ヘルスケア産業支援、協業…

各主体の取組みにおいて活用



成果の 継承・活用 イメージ

府ホームページ等での「10歳若返り」実践ガイドブック(仮)の発信

ガイドブック編

連携企業・団体の活動や技術などを紹介

➡ 市町村や企業等が事業実施にあたり、コンテンツや連携先などの検討に活用



プロジェクト総括編

プロジェクトの経緯や実施事業、成果や意義をとりまとめ

➡ 類似の取組みの実施、知見を有する有識者の情報収集に活用

連携先とのつながりを継承

これまで連携してきた企業・団体（ヘルスケア事業に取り組む企業や、府民向けの健康づくり事業を実施する団体等）が、引き続き、府域で健康づくりに資する取組みを実施できるよう、「10歳若返り」プロジェクトを通じて構築されたつながりを適切な主体に継承し、連携関係を広げる。

あり方に関する 主な論点

◆ 方向性について

- ・ 令和8年度以降のプロジェクトのあり方について、どのように考えるか

◆ プロジェクトの成果の継承・活用について

- ・ プロジェクトの成果として、どのようなものがあるか
- ・ プロジェクトの成果をどのように継承・活用できるか